

# 自然公園等事業の現状と 今後の方向について

自然公園のあり方懇談会  
平成15年6月30日(月)

# 自然公園等事業の概要

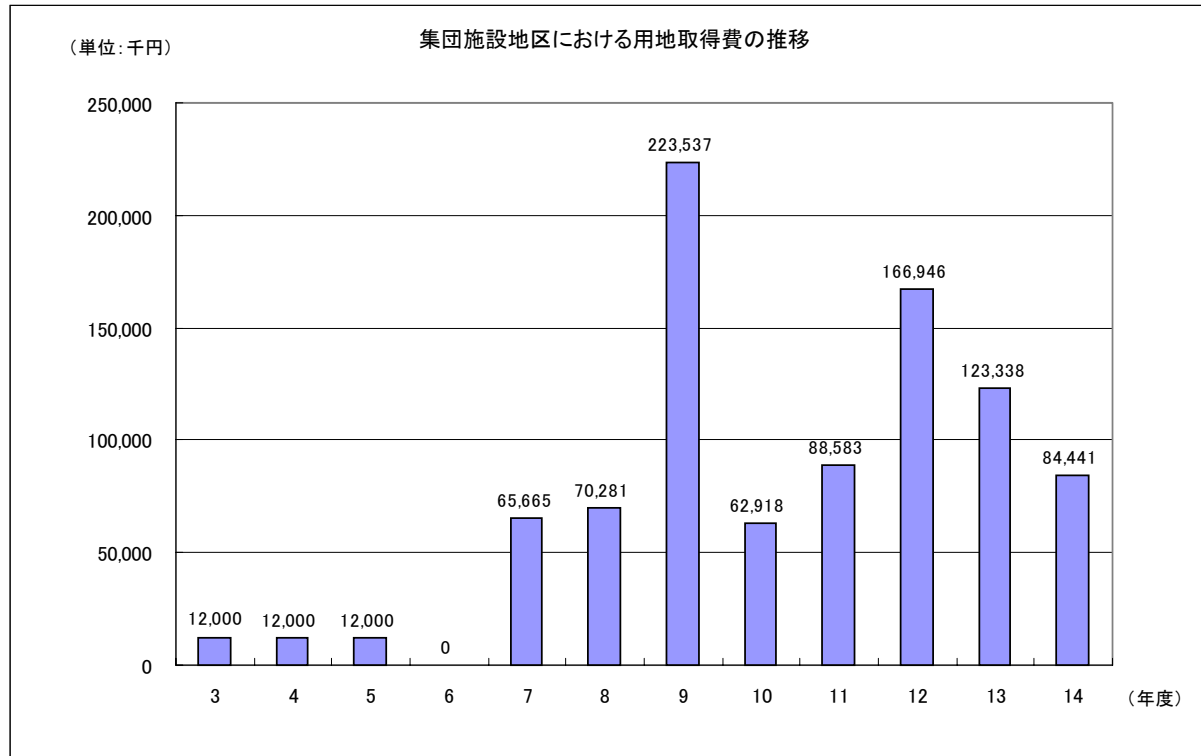
目的：自然とのふれあいの推進

内容：歩道、駐車場、公衆便所、キャンプ場等

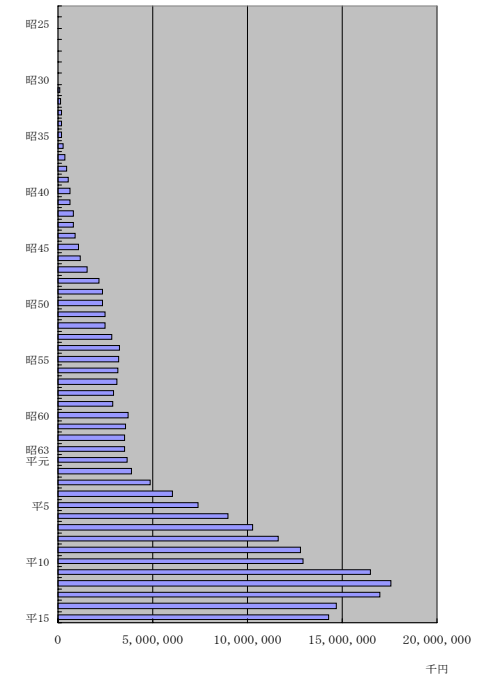
事業地：国立公園、国定公園を中心

事業主体：国立公園は国、都道府県  
国定公園は都道府県                      が中心

# 公共事業になって



(注: 3~5年度は予算ベース。7年度以降は実績ベース。6年度は繰越したため実績なし。)



近年の公共  
事業費縮減

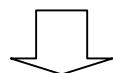
配分の重点化

効率性・透明性の向上～事業評価(費用便益分析等)、コスト縮減 等

# 自然公園等事業の特性

工作物と周辺の自然環境が一体となって効果を発揮。  
→ 工作物のみならず周辺の自然環境も社会資本として捉える

## 公共事業の基本

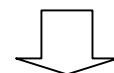


効率性

経済性

事業の早期実施

## すぐれた自然景観地における事業



地域特性を踏まえたデザインの採用  
地形等の自然条件を尊重した施設規模

自然景観との調和を図るために質の高さ

自然環境の調査の充実  
維持管理に近い慎重な事業手法

# 事業の目指してきたところ

- 自然公園等事業  
国民が  
「自然に学び」  
「自然の中で体験し」  
「自然とともに心地よく  
時を過ごす」  
ことができるような、自  
然とのふれあいの場を  
形成

- 国立・国定公園の整備
  - 自然環境の修復・復元
  - 自然学習・自然体験のためのフィールドの確保
  - 利用のアメニティの確保

## 国立・国定公園の整備状況1

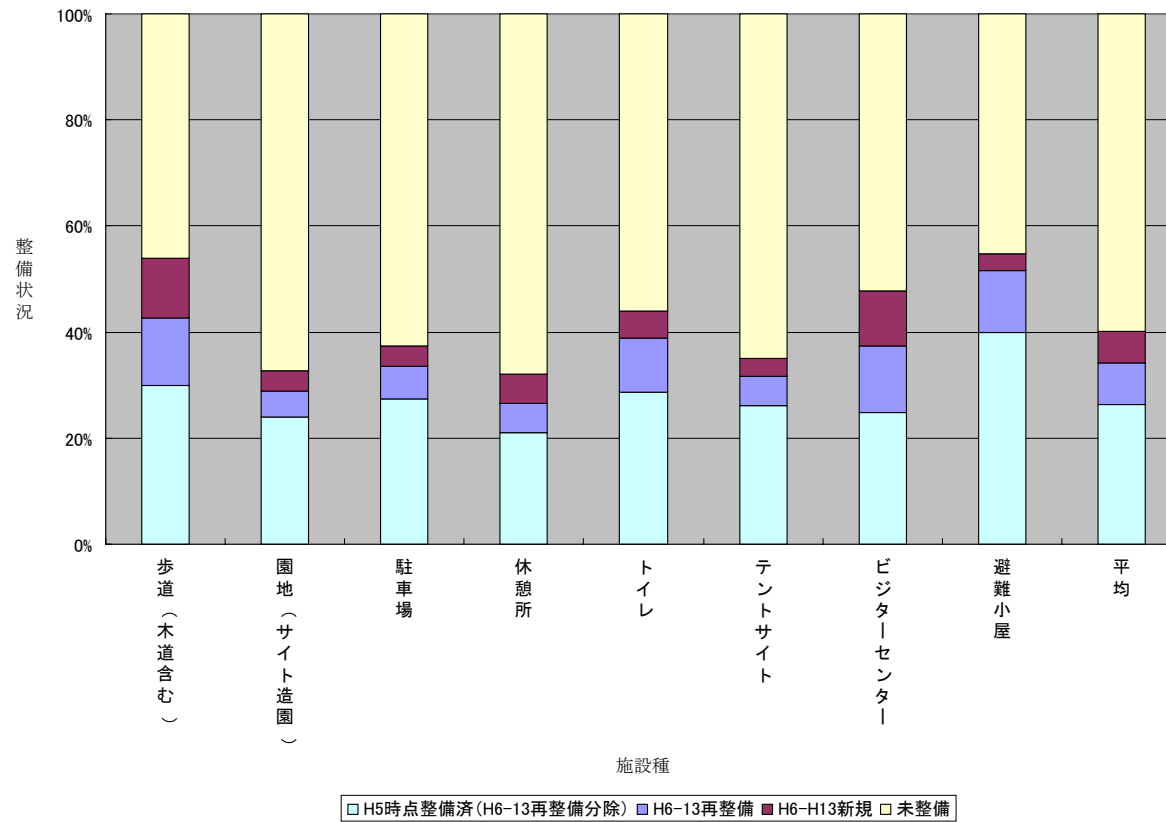
### ●国立国定公園における主要な施設の整備量

施設名	単位	平成6～13年の 整備量（国費投入分）
歩道（木道含）	k m	1,101
園地（サイト造園）	m <sup>2</sup>	763,661
駐車場	m <sup>2</sup>	415,325
休憩所	m <sup>2</sup>	15,278
トイレ	m <sup>2</sup>	20,056
テントサイト	m <sup>2</sup>	234,209
炊事棟	m <sup>2</sup>	6,052
管理棟	m <sup>2</sup>	9,102
ビジターセンター	m <sup>2</sup>	15,126
避難小屋	m <sup>2</sup>	1,637

- 注 1. 自然公園等事業は平成6年に公共事業化された。
2. 調査対象は、環境省、都道府県、市町村が整備を行った施設である。
3. 本データは、各都道府県に調査依頼し、環境省にて集計を行ったものである。  
データは暫定集計値である。

## 国立・国定公園の整備状況2

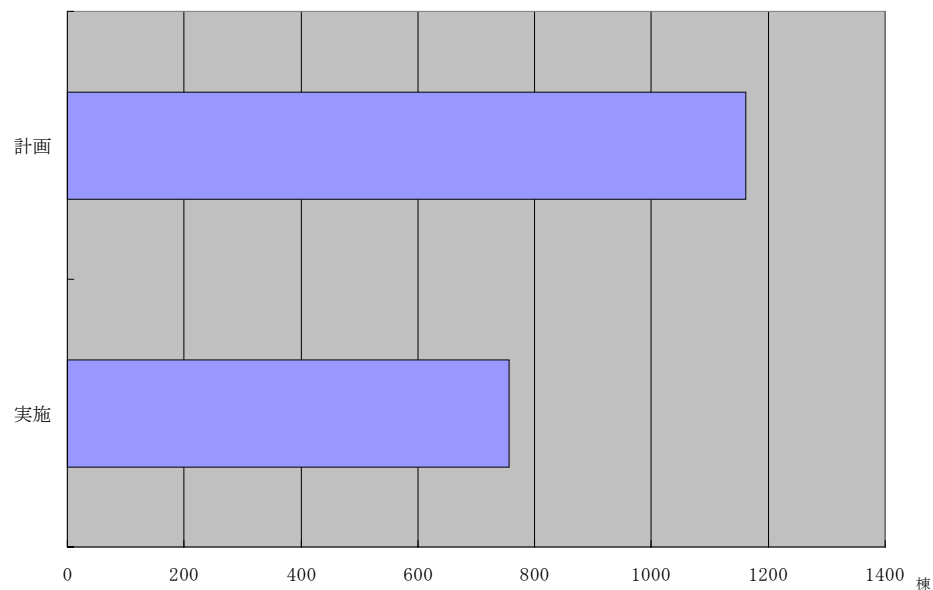
### ● 国立・国定公園における主要施設種毎の整備状況



整備状況 = 整備を実施した施設の総数 / (既にある施設の総数 + 整備が必要とされた施設の総数)

## 国立・国定公園の整備状況3

### ●H3－H14に行った公衆便所再整備実施状況



計画：H2時点で再整備が必要であった棟数＋  
その後再整備が必要となった棟数  
実施：再整備を実施した棟数

再整備実施率 = 65%



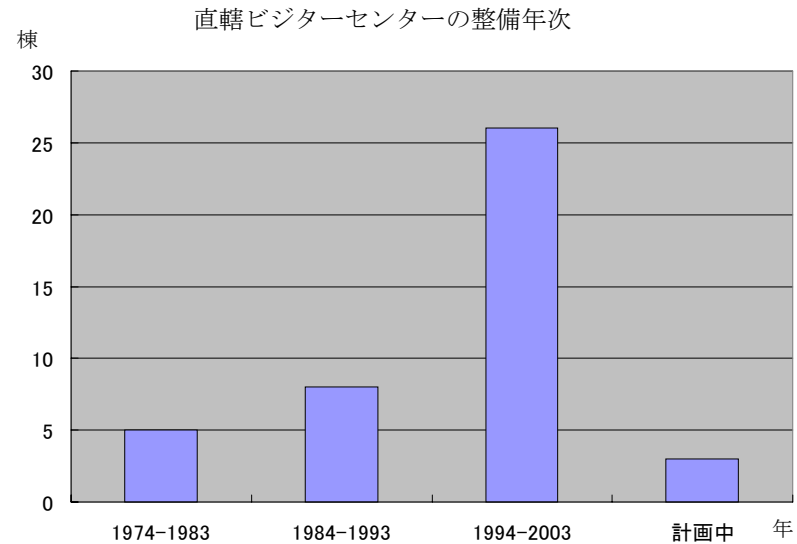
公衆トイレ整備後



# 国立・国定公園の整備状況4

## ●国立公園内直轄ビジターセンターの整備状況

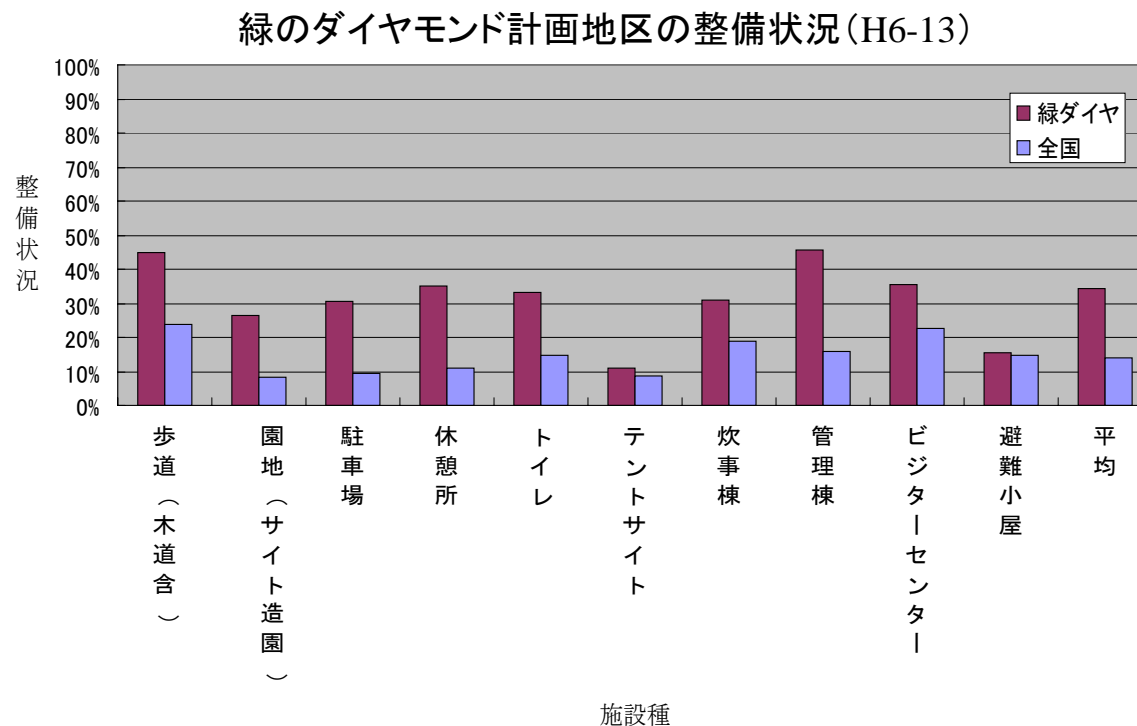
国立公園名	通称名	完成年度	新改築等	建築面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )
西表	竹富島ビジターセンター	昭和52	再整備計画中	249	249
十和田八幡平	十和田ビジターセンター	昭和54		211	407
雲仙天草	雲仙公園ビジターセンター	昭和56		531	394
西表	黒島ビジターセンター	昭和57		166	166
阿蘇くじゅう	南阿蘇ビジターセンター	昭和57		286	450
日光	尾瀬沼ビジターセンター	昭和60		384	493
利尻礼文サロベツ	サロベツ原生花園自然教室	昭和61		140	215
利尻礼文サロベツ	幌延ビジターセンター	昭和63		207	271
磐梯朝日	浄土平ビジターセンター	平成 2		423	459
釧路湿原	温根内ビジターセンター	平成 3		204	300
日光	日光湯元ビジターセンター	平成 4		490	577
山陰海岸	竹野スノーゲルセンタービジターセンター	平成 4		569	720
磐梯朝日	月山ビジターセンター	昭和61	平成 5	532	559
釧路湿原	塘路湖ミュージアムセンター	平成 7		486	509
阿蘇くじゅう	長者原ビジターセンター	平成 9		442	707
阿寒	川湯ミュージアムセンター	平成 9		560	693
富士箱根伊豆	箱根ビジターセンター	平成 7	平成10	777	668
伊勢志摩	横山ビジターセンター	平成10		465	477
大雪山	層雲峡ビジターセンター	平成11		539	716
十和田八幡平	高温泉ビジターセンター	平成11		55	64
上信越高原	笹ヶ峰エコビジターセンター	平成11		217	217
雲仙天草	雲仙諏訪ノ池ビジターセンター	平成11		340	544
霧島屋久	えびのミュージアムセンター	平成11		772	858
知床	羅臼ビジターセンター	平成 2	平成12	402	312
陸中海岸	宮古ビジターセンター	昭和49	平成12	429	429
富士箱根伊豆	田貫湖ふれあい自然塾	平成12		2,896	3,245
白山	市ノ瀬ビジターセンター	平成12		220	443
阿寒	阿寒湖畔ミュージアムセンター	平成13		1,436	1,188
十和田八幡平	八幡平ビジターセンター	平成13		678	802
中部山岳	上高地ビジターセンター	平成13		922	781
瀬戸内海	五色台ビジターセンター	平成13		1,294	1,120
磐梯朝日	五色沼東ビジターセンター	平成14		748	642
吉野熊野	大台ヶ原ビジターセンター	平成14		516	584
瀬戸内海	大久野島ビジターセンター	平成14		753	763
雲仙天草	平成新山ネイチャーセンター	平成14		1,216	693
支笏洞爺	支笏湖ビジターセンター	昭和53	平成15	1203	997
上信越高原	鹿沢インフォメーションセンター	平成15		608	1000
中部山岳	上高地インフォメーションセンター	平成15		860	999
大山隠岐	大山寺休憩所	平成15		424	683
支笏洞爺	洞爺湖ビジターセンター		新施設計画中		
日光	那須インフォメーションセンター		新施設計画中		
雲仙天草	雲仙情報館		新施設着工		



上高地ビジターセンター整備後

## 国立・国定公園の整備状況5

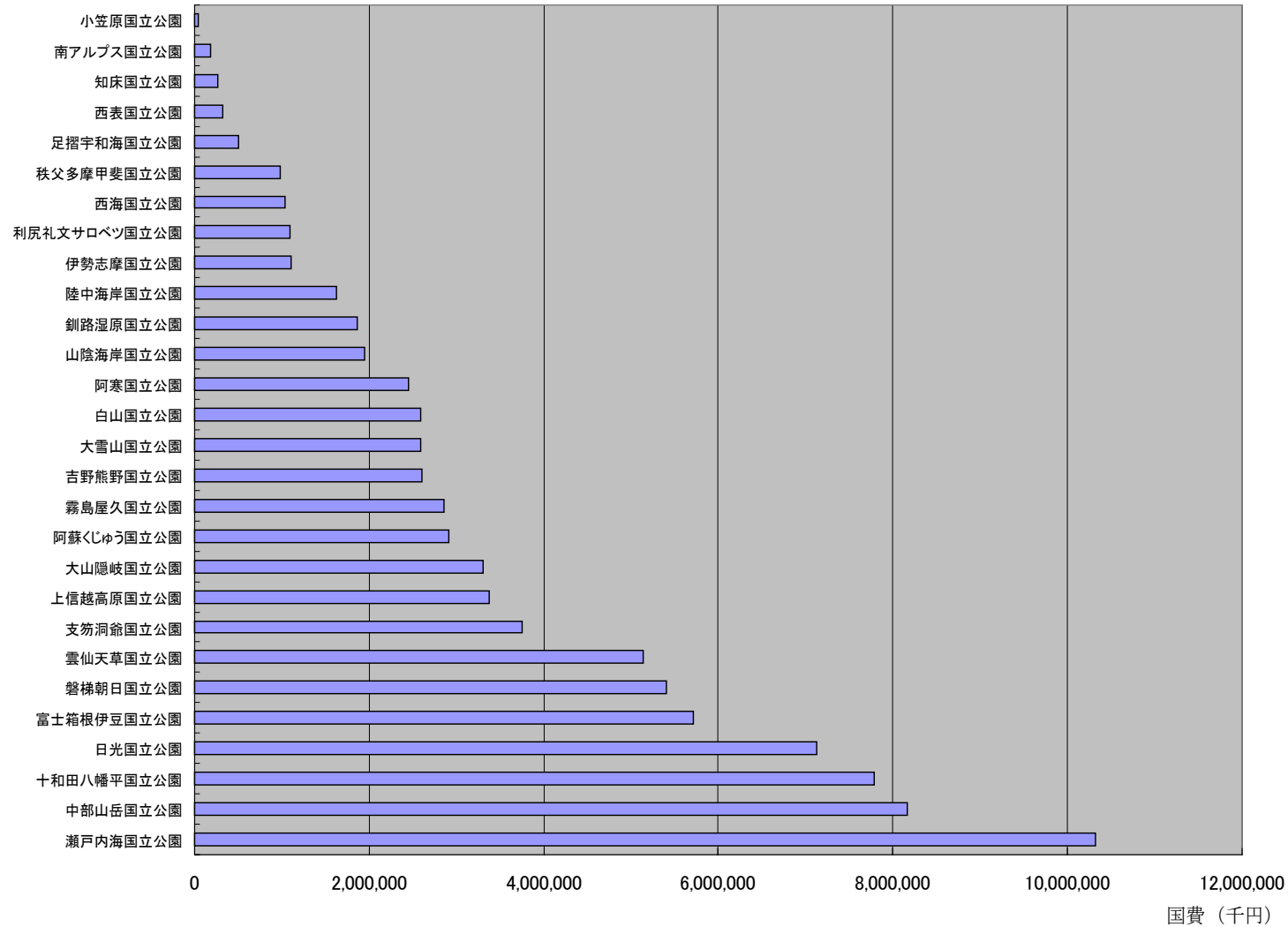
### ●緑のダイヤモンド計画を実施した地域の整備状況



整備状況 = 整備を実施した施設の総数 / (既にある施設の総数 + 整備が必要とされた施設の総数)

## 事業の実施状況1

# 国立公園別国費投資状況



注)小笠原国立公園の利用施設の整備は別予算で実施されている。

## 事業箇所数・事業規模、市町村との関係

### 市町村との関係

- H6～H13の整備実施市町村数:548  
(国立・国定公園関係市町村(1,137)の5割弱)
- 整備実施市町村数  
／年 = 2百前後
- 公共事業化後、整備が行われた上位20市町村に国費の4割

事業箇所数:延2543箇所・年(H6～H14)  
事業規模:補助52百万円／年・箇所  
直轄89百万円／年・箇所

### 地域振興関係指定地域との関係

	地域振興5法のいずれか	
	対象地域	対象外
国立・国定公園を有する市町村数	962 85%	175 15%
国立・国定公園内で事業が行われた市町村数	466 85%	82 15%
投資された国費(千円)	92,076,990 87%	14,267,456 13%
一市町村あたりの投資額(千円)	197,590	173,993

地域振興5法(山村振興法、特定農山村法、離島振興法、半島振興法、過疎法)

# 国立・国定公園の整備にかかる課題

## ●従前からの役割の向上

(1) 自然から学ぶ場、自然を体験する場の充実

例: 自然学習の場の整備状況

(2) 自然とともに心地よく時を過ごす場の質の向上

例: 駐車場のデザイン

## ●近年の社会的要請への対応

(3) 生物多様性の確保、温暖化、廃棄物等の対策の徹底

例: 山岳部のし尿処理

(4) 高齢者、障害者や外国人の利用の推進

例: 車椅子対応歩道のデザイン

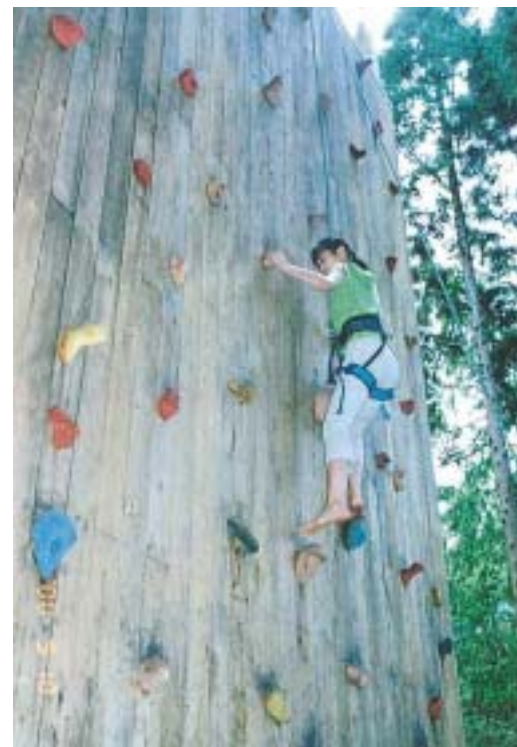
## ●地域からの要請、公園管理上の課題への対応

(5) 民間施設の集中する利用拠点の活性化

例: 利用拠点への投資状況

## 公園整備の課題1

～自然から学ぶ場、自然を体験する場の充実



自然学習の推進を旨とした事業の実施地区数 = 22 か所

## 公園整備の課題2

～自然とともに心地よく時を過ごす場の質の向上

### ●例：駐車場のデザインの向上



アスファルト舗装



芝生ブロック



## 公園整備の課題3

～生物多様性の確保、温暖化、廃棄物等の対策の徹底

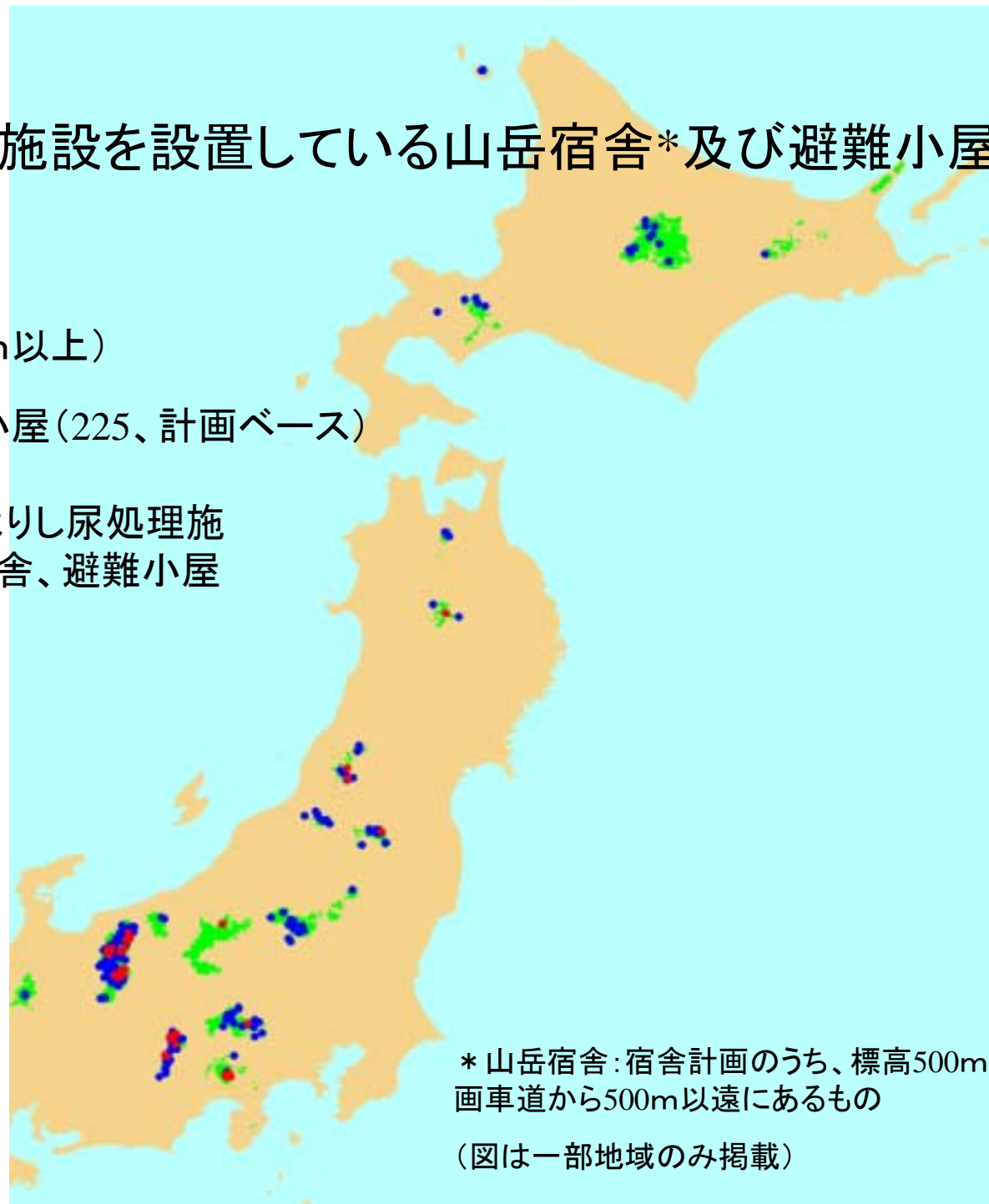
### ●例：山岳部のし尿処理の改善





## ●し尿処理施設を設置している山岳宿舎\*及び避難小屋

- 国立公園(標高500m以上)
- 山岳宿舎及び避難小屋(225、計画ベース)
- 環境省補助事業によりし尿処理施設を整備した山岳宿舎、避難小屋(36、計画ベース)



\* 山岳宿舎: 宿舎計画のうち、標高500m以上、計画車道から500m以上遠にあるもの

(図は一部地域のみ掲載)

## 公園整備の課題4

### ～高齢者、障害者や外国人の利用の推進

#### ●例：車椅子対応歩道のデザインの向上

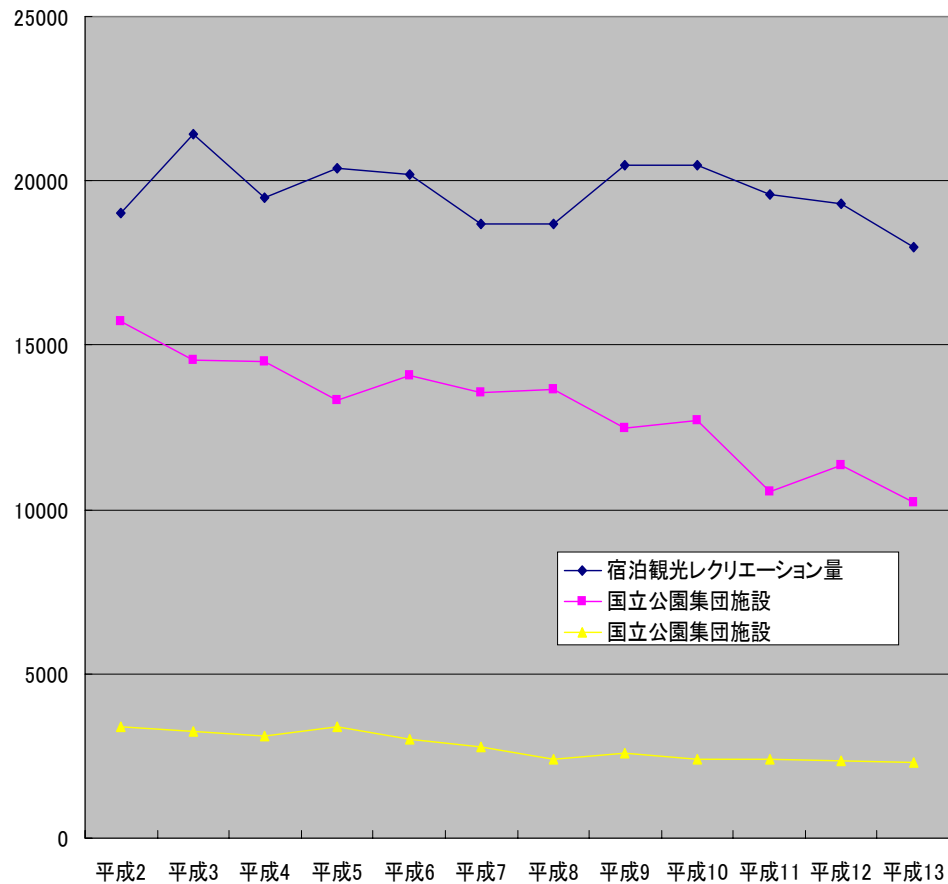


国立公園集団施設地区における車椅子対応歩道の整備比率 = 37.8%

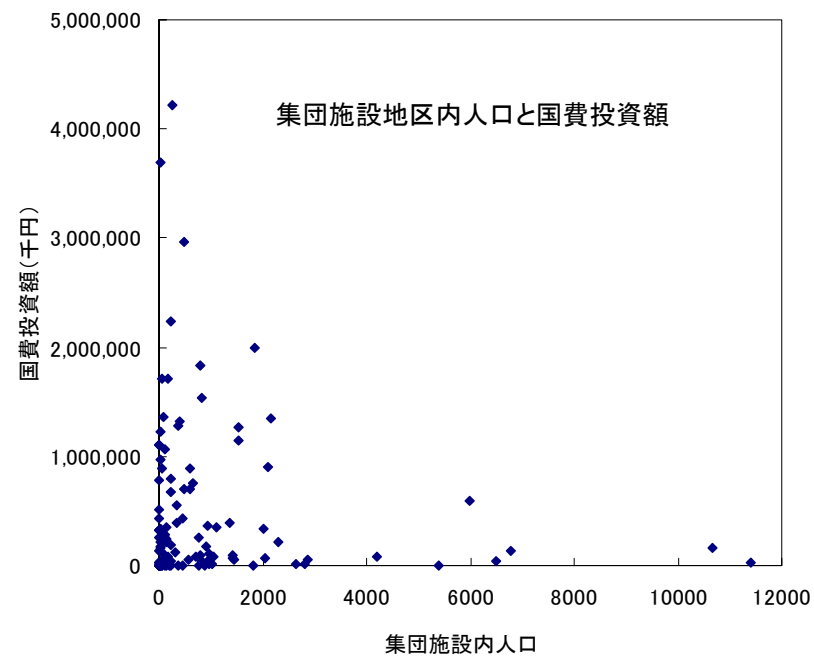
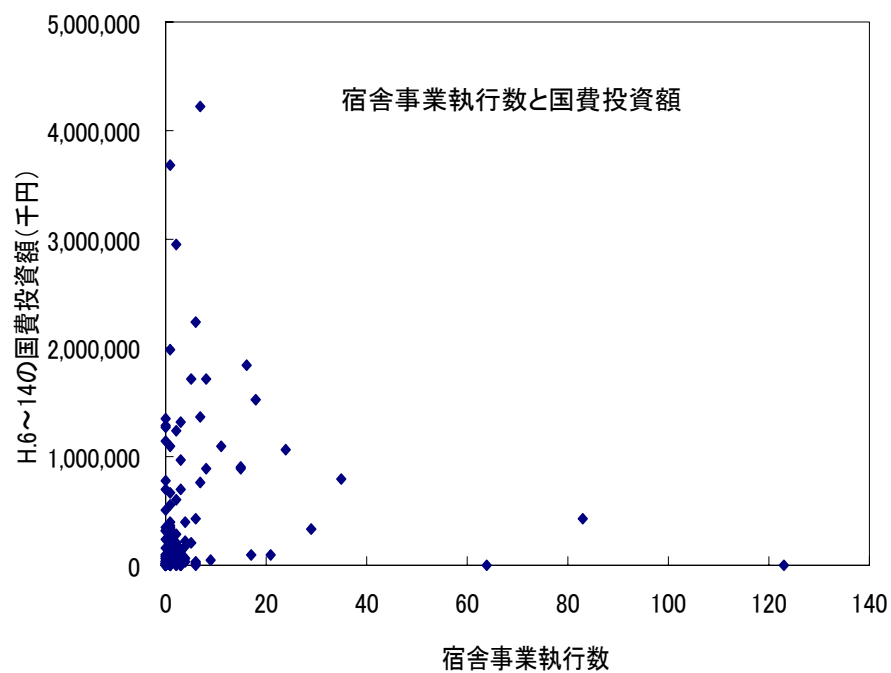
## 公園整備の課題5

### ～民間施設の集中する利用拠点の活性化

利用拠点の利用者数の推移



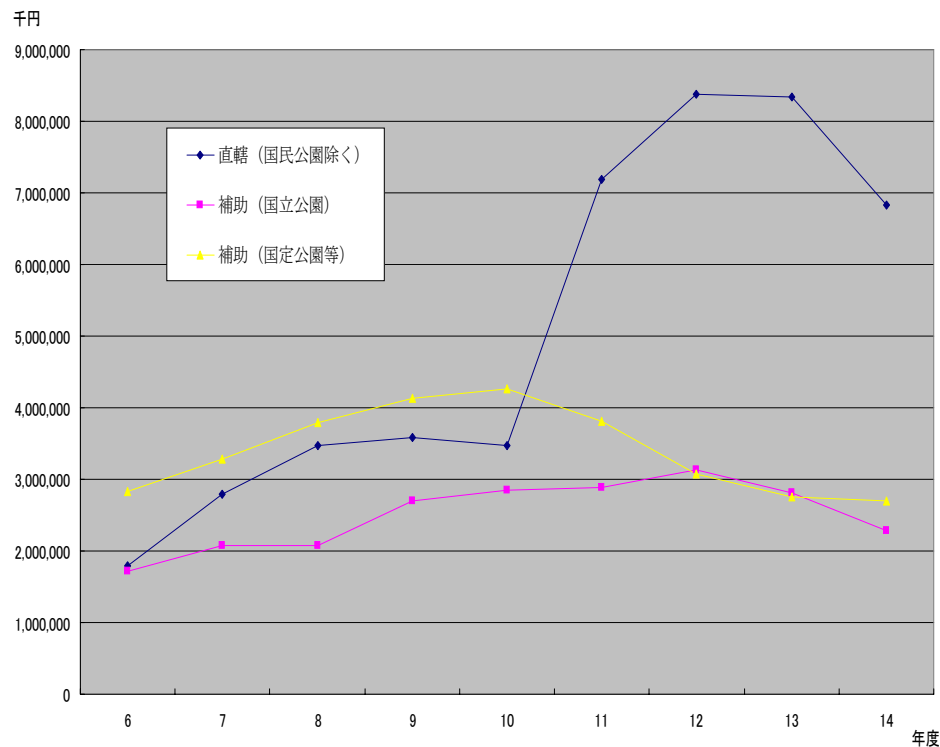
## ● 集落型の集団施設地区における投資状況



## 事業手法の課題1

### ●事業主体～直轄事業の対象～

直轄事業費、補助事業費の推移



予算:国費ベース

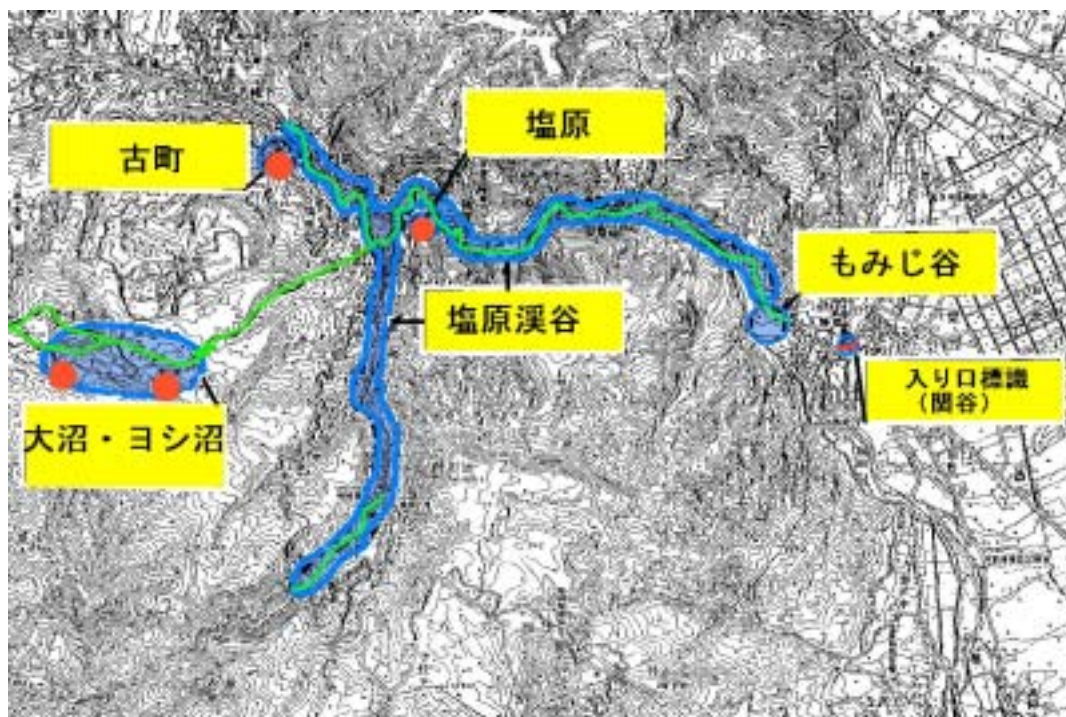
### 直轄事業の対象

- 集団施設地区のうち、公園管理上、特に重要な地区(所管地)における事業
- 集団施設地区のうち、国民休暇村地区における事業
- 緑のダイヤモンド計画等の総合的整備計画に位置づけられた事業

## 事業手法の課題2

### ● 広域的な視点にたった整備計画の作成

- 一つの公園利用計画に対応した整備計画が主流
- 複数の公園計画を含む広域的な整備計画(下図参照)は少数



地区名	対応する公園計画
塩原	前山博物展示施設
塩原溪谷	塩原溪谷線道路(歩道) 雄飛の滝線道路(歩道)
古町	古町駐車場
	大沼園地 ヨシ沼園地
大沼・ヨシ沼	須巻富士新湯線道路(歩道)
もみじ谷	塩原溪谷線道路(歩道)
入口標識(関谷)	塩原藤原線道路

- 施設計画(単独施設)
- 施設計画(道路(歩道))
- 施設計画(道路(車道))



# 公園整備(内容)の方向性

基本的考え方	対応すべき主な課題	整備の方向
(1)環境対策の徹底	○山岳地域のし尿による影響の防止	○登山口のトイレ整備 ○携帯トイレ回収ボックス ○既存山岳トイレの改善
	○山岳地域の歩道と周辺植生の荒廃の防止	○利用調整地区の導入とあわせて、利用基地地区の整備 ○自然条件、自然景観に合致した歩道の整備
	○交通渋滞、廃棄物等による環境負荷の低減	○マイカー規制に対応した駐車場等の整備
(2)自然を活かした学習の場の確保	○環境学習、自然体験の場としての利用の推進	○自然体験フィールド等の自然学習の場の拡大
(3)くつろぎの場の確保	○利用拠点地区の空間の魅力の向上	○廃墟化した施設の撤去と緑地化、広場化 ○気軽に利用できる散策路等の整備
		○駐車場等の施設のデザインの向上
(4)誰もが利用できる場の確保	○外国人利用者への対応	○外国語対応標識の整備
	○障害者利用者への対応	○車椅子対応地区の明確化
		○車椅子対応園路

# 事業手法の方向性

項目	課題	対応の方向
事業主体	○地方の事業費が減少傾向下にあるなかでの事業の実施	○国と地方が協力、分担して整備
	○国立公園整備における国の役割の強化	○直轄事業の対象についての運用を一部、拡大 ○地域の努力、痛みを伴う制度の導入とあわせた直轄事業の導入
整備計画手法	○公園或いは地域における望ましい利用の姿を考慮した整備ビジョンに基づく事業の普及	○広域的計画を立案し、整備する場合の計画調査費、用地・補償費などの支援
		○既存ストックの活用を含めた計画、投資規模の多寡を問わない計画を策定